

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	2022 年度第 2 回「原子力アゴラ」調査専門委員会								
会議種別	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; border: 1px solid black;">本会議</td> <td style="border: 1px solid black;">幹事会</td> <td style="border: 1px solid black;">メール審議</td> <td style="border: 1px solid black;">その他*( )</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: right; font-size: small;">*分科会、WG 等具体的に記入のこと</td> </tr> </table>	本会議	幹事会	メール審議	その他*( )	*分科会、WG 等具体的に記入のこと			
本会議	幹事会	メール審議	その他*( )						
*分科会、WG 等具体的に記入のこと									
開催日時	2022 年 12 月 15 日(金)9:00 ~ 10:00      メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと								
開催場所	オンライン開催								
参加人数	15 名 中島健(主査)、出光一哉、大井川宏之、岡本孝司、河合勝則、関村直人、橋爪秀利、三浦信之、山口彰、山本章夫(以上、委員)、佐藤修彰、小宮山涼一、駒野康男、斉藤拓巳、白木貴子(報告者、オブザーバ)								
議事	<p>1. 前回議事要旨確認(資料 1)  前回議事が承認された。</p> <p>2. 各分科会の活動報告  本委員会の下で活動している 3 つの分科会の活動状況及び今後の予定について報告を受け、意見交換を行った。</p> <p>1) 研究炉等の役割検討・提言分科会活動報告(資料 2)  中島主査(分科会主査)より資料 2 に基づき説明が行われた。研究炉の規制対応経験の整理を進めているところ。今後、その結果に基づき、課題のとりまとめを行う予定。次期には規制側との意見交換を行い、提言をまとめる予定である。</p> <p>2) 大学等核燃および RI 研究施設検討・提言分科会活動報告(資料 3)  佐藤分科会主査より資料 3 に基づき説明が行われた。核燃料及び RI 研究施設の拠点化、使用目的のない核燃料の取扱いについて、関係省庁との意見交換を行いながら検討している。次期は一部体制を見直して、引き続き検討を進める。</p> <p>3) 地球環境問題対応検討・提言分科会活動報告(資料 4)  小宮山分科会主査より資料 4 に基づき説明が行われた。直近の分科会における 2 件の報告の概要、次回会合予定の紹介があり、本分科会は今期をもって活動を一旦休止する予定であるとの説明があった。</p> <p>4) 持続的な原子炉・核燃料サイクル分科会活動報告(資料 5)  斉藤分科会主査より資料 5 に基づき説明が行われた。分科会設置の背景、活動目的の紹介の後、これまでの活動状況と今後の予定が説明された。今年度末に中間報告の取りまとめ、来年夏頃に最終報告書を作成する予定である。</p> <p>3. 来期の活動方針および体制について(資料 6)  中島主査より資料 6 に基づき、次期(2023 年 4 月～2025 年 3 月)の活動について説明が行われた。次期は山口委員を主査として、今期で活動を休止する地球環境問題対応検討・提言分科会を除く、3 つの分科会を中心とした活動とすることの説明があった。これに対して、分科会の活動の成果を外部に向けてしっかりと発信</p>								

	<p>することが必要であり、本委員会としてマスコミとの懇談を行うなど、外部発信の活動を進めるべきとの意見があった。また、分科会の主査を本委員会の委員とするのが良い、との意見もあった。これらの意見をもとに、中島主査と次期の主査である山口委員により、次期の本委員会延長に係る申請書案を作成することとした。</p>
備 考	

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	2022年度第1回「原子力アゴラ」調査専門委員会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*( ) <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年8月5日(金)10:30～12:00 <small>メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと</small>
開催場所	オンライン開催
参加人数	14名    中島健(主査)、長谷川秀一(幹事)、出光一哉、大井川宏之、小原徹、河合勝則、小山正史、関村直人、峯尾英章、山口彰(以上、委員)、佐藤修彰、小宮山涼一、駒野康男、白木貴子(報告者・オブザーバ)
議事	<p>1. 前回議事要旨確認(資料1)  前回議事が承認された。</p> <p>2. 各分科会の活動報告  本委員会の下で活動している3つの分科会の活動状況及び今後の予定について報告を受け、意見交換を行った。</p> <p>1) 地球環境問題対応検討・提言分科会活動報告(資料2)  小宮山分科会主査から資料に基づき説明がなされた。Phase2の最終報告書が公開され、その概要が紹介された。電力自由化からの視点について質問があり、報告書の中では、国の制度の形として議論していることが説明された。</p> <p>2) 研究炉等検討・提言分科会活動報告(資料3)  峯尾委員(分科会幹事)より資料に基づき説明がなされた。一部資料の修正が報告された。規制側との意見交換の状況について質問があり、学会としての立場を活かすよう助言があった。立場との関係でメンバーの範囲について議論された。</p> <p>3) 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会活動報告(資料4)  佐藤分科会主査から資料に基づき説明がなされた。規制庁との意見交換はいろいろな側面から必要との意見があった。</p> <p>3. 今後の活動計画について</p> <p>1) 新しい分科会の提案(資料5)  山口委員より資料に基づき説明がなされた。分科会の設立について学会に確認したところ、本委員会で承認されればよいことがあわせて報告された。以下の議論の後、承認された。</p> <p>リサイクル部会での活動との差別化について議論があった。部会は技術的な議論が中心であるが、本分科会は俯瞰的な議論を期待している。様々な部会のメンバーが含まれており、様々な意見が反映されるべきことが確認された。</p> <p>「総合的に検討」という趣旨について質問があり、例えば、現在新たな炉型が提案されているが、それに対する再処理や廃棄物の位置づけなども検討することを</p>

	<p>考えている、との回答があった。</p> <p>最終目標までの過程など時系列の議論も含めてもらいたい旨意見がなされた。</p> <p>2)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中島主査から委員会経費について紹介がなされた。本年度はリモート開催を考えているので、旅費は計上しないことで計画している。</li> <li>・中島主査から、来年度以降の活動について、次回(12月ころを予定)議論を考えているので準備をお願いしたい旨提案がなされた。その後、最終回を年度末に予定している。</li> <li>・小山委員より、アゴラの報告書は委員会ということで、学会HPの深いところにあるが、重要な事項を議論しているので、もう少し目立つところに置いてもらえるよう学会に働きかけてはどうかとの提案があり、中島主査から学会に相談することとなった。</li> </ul>
備 考	